

# 6 がっひかりごう

令和2年6月1日 輝保育園

草木の緑が、一段と濃くなってきました。緊急事態宣言が解除され、自粛中の子ども達も登園し、いつもの賑やかな保育園に戻ってきます。新入園の子どもさんは元より、在園児の子どもさんも経験したことのない環境の中で不安を抱えて登園される事と思います。気になることがありましたら、いつでも保育士にお声掛け下さい。保育園での発見や、様々な興味を持つ子ども達の気持ちに、共感しながら保育を進めていきます。

## 【【 お願い 】】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園では換気をこまめに行い、手洗い・消毒・保育士はマスクの着用により対応しています。

ご家庭でも、引き続き毎朝の検温や健康観察のご協力をお願いいたします。

## ★ 保育参観 ★

例年、今の時期に実施していましたが保育参観は、検討中です。

実施要領などが決まりましたら、改めてお知らせします。

## ◇ 時の記念日 ◇

6月10日は時の記念日です。

自粛生活が続き、生活のリズムが整いにくくなっているご家庭もあることと思います。

食事の時間、寝る時間など、お子さんと一緒に決め、生活の中に約束の時間を取り入れずごしてみたいかがでしょうか。

## = 6月の行事予定 =

- 4日(木) 避難訓練
- 9日(火)
- 10日(水) } 尿、ぎょう虫卵検査
- 25日(木) 歯科検診
- 26日(金) 身体測定・誕生会



## = ナース・レポート =

6月4日～10日は「歯と口の衛生週間」です。

なぜ、虫歯になるのでしょうか？

実は、生まれたての赤ちゃんの口腔内には虫歯菌(ミュータンス菌)は存在していません。

これで分かるように、虫歯菌は、唾液を介して感染する、感染菌なのです。

虫歯菌を口腔内に持っている大人の唾液が、コップや食器の使いまわしや、かわいいからとキスをしたりして赤ちゃんの口の中に入ると、虫歯菌に感染します。

乳歯の奥歯が生えてくるおおよそ18ヵ月から36ヵ月までの間は、親子感染しやすい「感染の窓」と呼ばれる期間で、特に注意が必要です。

また、乳歯は、永久歯に比べてやわらかく酸に弱いため、虫歯になりやすく、エナメル質や象牙質に厚みがなく、虫歯になると一気に進行してしまいます。

虫歯を放置すると、噛むときに痛みが生じるため偏食になりやすく、顎の発達や永久歯にも悪影響を及ぼします。

乳歯はいずれ永久歯に生え変わるからと放置せず、きちんと治療を進めましょう。

歯は、一生の間、毎日欠かさず使う大切な物。

歯ブラシは1ヶ月を目安に交換をし、きちんと歯磨きをして、しっかり守っていきましょう!!

## 《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

## ☆☆ 大人の関わり方 ☆☆

3. タイミングを逃さずにほめる  
子どもの言動をほめる時は、できるだけその場でほめることが大切です。

これは、叱る時と同様で、タイミングを逃すことで効果が大きく違ってきます。

タイミング良くほめることが重要です。

4. 他の子どもと比較してほめることはできるだけ控える

「～くんより上手にできたね!」のように競争心を刺激したほめ方をすると、子どもは喜び頑張ります。

しかし、他の子どもとの比較を過度にやると順位にこだわった頑張りになり、必ずしも自尊感情や意欲そのものの向上にはつながらないこととなります。

当然ながら、「～ちゃんよりだめだったね」などというのは好ましくありません。

5. 「結果」だけでなく、「過程」も大切に

一生懸命に頑張ってもうまくいかないこともあります。

それを結果だけでほめたり、叱ったりしたのでは、自分は受け入れられていないと子どもは感じ、意欲も減退します。

一生懸命に頑張った過程をほめ、次への意欲付けや目標設定に生かしてください。



「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

こどもよす

## たんぼぼぐみ

0才児



入園して間もなくコロナウィルスの感染拡大予防の登園自粛になりました。自粛生活の中でも、子どもの情緒、安全は守られる有意義なものとなったと思います。今月からは全員が登園し、ますますにぎやかな0才児クラスとなる事でしょう。4月にも述べた通り、心を育む保育を第一に、まずは愛着関係をしっかりと築く保育に取り組んでいきたいと考えております。慣れるまではたくさん涙が出てしまうでしょう。登園時には不安で声を上げてお家の方を求めましょう。不安な気持ち、悲しい気持ちにもしっかりと寄り添い保育園で安心して心穏やかに生活できるように努めていきます。笑顔で登園してくれる日を楽しみに毎日過ごしていきたいと思ひます。これからどんな姿を見せてくれ、どんな0才児クラスになるか楽しみです。

## たんぼぼぐみ

1才児



天気の良い日は、午前中も午後も戸外に出て遊んでいます。虫が大好きな子どもが多く、だんご虫、テントウムシ、コガネムシなどを見つけて喜んでいきます。地面にはりつくようにして間近で見たり、追いかけたり大騒ぎです。だんご虫は、丸まっている状態の時は触れるけれど、手の中で動きだすとびっくりして、降り落としてしまう子もいました。強く握りすぎてつぶしてしまうこともあります。「そつとね」、「優しくだよ」と声掛けすることで、少しずつ上手に触れることが出来る子も出てきました。見たり、触れたり体験する中で、色々なことを学んでいます。今月も、好きな遊び、興味のあることが増えるよう一緒に楽しんでいきます。登園自粛の期間が終わり、6月から全員揃っての園生活が始まります。引き続き、ご協力よろしくお祈ひします。

## すみれぐみ

2才児



毎日、汗をかきながら戸外でたくさん体を動かし、元気いっぱいです。砂遊び、三輪車、ごっこ遊びと好きな遊びを見つけ楽しんでいきます。特に三輪車が人気で、園庭へ行くと、みんな三輪車めがけて一目散に走ります。そんな中、最近よく見られるのが、三輪車の取り合いです。こげるようになった喜びもあり、一人で乗りたい子、こげないため後ろに乗せて欲しい子といます。どちらも三輪車に乗りたい気持ちは一緒です。保育士が仲立ちとなり、お互いの気持ちを代弁しています。今はまだ、一人遊びが中心ですが、これから少しずつお友だちとの関わりも見られるようになります。この経験を通し、言葉での伝え方や、順番を守ることなどの社会性を学び、友だちの存在、相手の思いなど、色々なことに気付いてくれることを期待しています。

## ちゅうりっぷぐみ

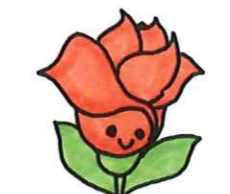
3才児



園庭にはダンゴ虫やテントウムシが顔を出し始め、こども達の心をワクワクさせてくれています。時に、「見せて」、「だめ!」とケンカも起こりますが、嬉しさや悲しさなど様々な感情を得ながら、友達との関わり方を学んでいます。今月から、3才児期の目標である身辺自立の確立に向けて本格的に取り組まします。まずは、「衣服の着脱」を中心に行います。「衣服の前後を自分で見極める」ことが最重要課題です。見極め方の知識を得ること、さらに得た知識を生活に活かす、知恵に変える事がポイントです。襟元を口に見立て、「洋服を下に置いて、お口が見えたら×、見えなかつたら○だよ」と教えていきます。生活の中の何気ない「着脱」ですが、こども達が大きく成長するチャンスが詰まっています。試行錯誤する過程をご家庭でも見守ってください。

## ばらぐみ

4才児



ある日、てんとう虫を沢山発見しました。一匹ずつ見比べて種類や色、模様の違いに気付きました。何を食べるのか調べたり、虫の特徴に気付いたり関心が高まっています。他にも、蝶々や蛾、だんごむし、コガネムシなどを見つけ、虫かごに入れて観察しています。次の日、虫かごに入れたままの虫たちが弱っていました。その事に気付く、「動かない」と悲しそうに見守る姿や「逃がしてあげる」と虫かごから出す姿が見られました。生命の大切さや尊さに触れる機会を作ることが出来ました。今後も、身近な自然物と関わりながら生命を大切にしようとする気持ちを育てていきます。今月は、梅雨に入ります。その日の気温や湿度に応じて身体を拭いたり流したり、水遊びを計画しています。フェイスタオル1枚の準備を、毎日お祈ひ致します。

## ひまわりぐみ

5才児



5月も少人数で過ごしました。ドッジボールをする時、以前は保育士が水でコートを描いていました。それを見て学んだ子ども達は自分達でコートを描いて遊びを始めるようになりました。線を真っ直ぐ引いたり同じ広さのコートにしたりすることはまだ難しいですが、自分達で環境を整えようとする姿に成長を感じます。また、布団敷きで狭いところは布団を動かしたり、休みの友だちの布団を片づけたりと自分で考えながら取り組んでいます。6月から少しずつ保育園の生活リズムに戻しながら、友だちとの協力が必要な当番活動や誕生会の司会などに取り組んでいきます。お互いの意見を聞いてどうしたら折り合いがつけられるのかを一緒に考えながら活動を進めています。引き続き、食事の正しいマナーを身につけていけるようご家庭でもご協力をお願いします。